

# グベスーメの幼稚園の建物とトイレ建設のための 作業報告1

2022年2月20日

2022年1月25日に私達はグベスーメの村人たちと、全体集会で会いました。このときすでに建設チームも一緒に行きましたが、船で向こう岸へ渡るのは全員にとって一大事件でした。何でも、オートバイに太陽電池パネル、工具、そして大変良い気分も載せて参りました。



私達がグベスーメに着くと、土地の人たちが踊りと歌で歓迎して下さいました。



続いて会合のために腰を掛けました。たくさんの子供たちも集まっていた。いつものように、契約書を読み上げ、村人に通訳してもらいました。質疑応答が行われました。その後、契約はイエスという意見で一致し

ました。私達は建設予定地、材料置き場や作業員の寝泊り場所を見ました。私はどこに泊まれるかと質問すると、みなさん、ちょっと困った様子でした。相談して、宿泊場所を決めますという約束になりました。



集会後、支援会会長、鋳物師一人、大工一人と私は陸地へ戻りました。小石、鉄材、セメント、建設用木材を探すためです。必要なほど大量に入手するのは簡単ではありませんでした。けれども少量を購入する気はありません、なぜなら船での運搬費が高額になりすぎるからです。鉄材は翌日に届くこととなりました。セメントはまず注文のみ。暗くなってやっと建築用木材と一緒にグベスーメに帰りつきました。



これで少なくとも翌日には建物のための用地囲いが出来ました。



私達が働いている間に小石、鉄材、セメントが運ばれてきました



## 小石の運搬



船着き場で小石が船に積まれます。



船がグベスーメに着きます。



荷下ろしのために小石は桶にいれ、建設現場へ運ばれます。



## セメント運搬



セメントは船積みされ、そして



運搬されます。



鉄材が着きました。



するとすぐにレンガも造られました。



そのあとは全てが風のように速く進みます。



最初のセメント流し



その上に鉄芯が備わります。



柱の鉄芯ができました。



壁の基礎が延びていきます。



下の鉄筋がおかれます



窓の下の鉄筋もきちんと組み合わさっています。





壁は上に延びていき、ベランダの鉄筋用の金属カバーが準備されました。



怪しげな作業場！



鉄筋柱にセメントが流されます。階段



破風壁が出来ました。



入口の昇り階段も進んでいます。



荷下ろし用受け口も造られています



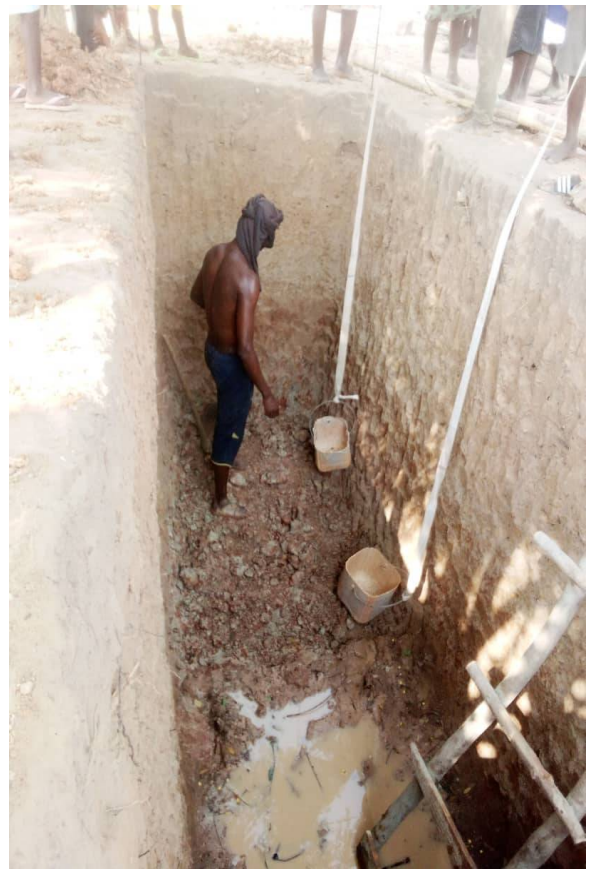


屋根が葺かれる前は少なくとも2週間、壁を乾燥させねばなりません。

トイレの場所が決定し、グベスーメの村人たちが穴を掘り始めました。



地面は非常に固いので、水で和らげる必要がありました。



## グベスーメへの訪問



作業開始後一月も立っていません。作業をしている皆さん全員にこの作業の速さについて感謝いたします。このプロジェクトでの私達の問題は水でした。建設用の水ではありません、何故かといえば、用地は河のすぐそばなので。児童生徒たちが河から桶に水を汲んで熱心に運んでくれました。河のそばに住んでいる人たちには厳しい規則があります。誰も河の水を糞尿で汚してはならないのです。この河は彼らの、まさに生活の基礎なのですから。けれども私達よそものは河の水には慣れていません。下痢をしてしまったら、仕事は即中止になるでしょう。そこで私達は飲料水をよそから入手せざるを得ませんでした。結局、数人の作業者が河の水をアクアタブ（フィルターの一種）をつかって飲めるように試みました。

村人たちとの交流は気持ちよく、友好的でした。さらには二人の建築家が訪問して下さって、さらに喜びが高まりました。

Fly and Help 会と援助者のみなさま、このプロジェクトを可能にして下さって有難うございます。心より感謝いたします。

グベスーメより心を込めて  
當田アストリット